

# 平成30年度 名古屋大学教育学部研究生及び 教育発達科学研究科大学院研究生 延長出願要項

本学部及び本研究科の研究生のうち、在籍期間の延長を希望する者について、選考の上、在学期間延長を許可する。

## 1. 延長可能期間

半年～1年以内（秋学期の申請は半年）。

## 2. 出願手続

希望者は、指導教員の内諾を得たうえ、出願期日までに出願書類を提出すること。

## 3. 出願書類等

- (1) 研究生研究報告書（所定の用紙）（中間報告）
- (2) 研究生期間延長願（所定の用紙）
- (3) 研究生研究継続理由書（所定の用紙）
- (4) 120円切手を貼付した返信用封筒（角形2号、受信場所・氏名を記入のこと）

## 4. 出願期間

- ・春学期から延長を希望する者

平成30年2月28日（水）、3月1日（木）9:00～12:00、13:00～16:00

- ・秋学期から延長を希望する者

平成30年8月28日（火）、8月29日（水）9:00～12:00、13:00～16:00

〔注意〕郵送の場合には、封筒の表に「研究生延長出願書在中」と朱書きし、書留郵便にて出願期間内に必着するよう提出すること。

## 5. 選考方法

書類により選考を行う。必要ある場合には面接を行う。

## 6. 出願書類等の提出先

名古屋大学文系教務課（教育担当）に提出のこと。

## 7. 延長許可

延長の許可又は不許可は決定次第、本人あて通知する。

## 8. 延長に要する経費

授業料 月額29,700円（春学期・秋学期の区分ごとに、それぞれ178,200円を納入）

\*ただし、在学中に授業料の金額が改定された場合は、改定時から新たな金額が適用される。

## 9. 注 意 事 項

- (1) 出願後、提出書類は返付しない。
- (2) 納入済みの授業料は返付しない。

## 10. その他（障害のある者等の出願）

障害等があつて、選考にあたり面接を行う場合、試験場での特別な配慮を必要とする者にあつては、出願期限までに、以下三点を文系教務課（教育担当）まで提出すること。

- (1) 受験上の配慮申請書(障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの)  
(様式随意、A4 サイズ)
- (2) 障害等の状況が記載された医師の診断書または障害者手帳の写し
- (3) 障害等の状況を知っている第三者の添え書(専門家や出身学校関係者などの所見や意見書)。なお、必要に応じて、適宜それ以外の書類を添付しても差し支えない。

また、試験に関して相談の希望がある者は、出願期限までに文系教務課（教育担当）まで問い合わせること。

入学後の修学に関して相談の希望がある者は、文系教務課（教育担当）及び障害者支援室にて随時受け付けているので、問い合わせること。

### 【障害者支援室】

電話 052-747-6963

Email [nudso@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:nudso@adm.nagoya-u.ac.jp)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学文系教務課（教育担当）  
TEL (052) 789-2606(直通)  
Email [educa@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:educa@adm.nagoya-u.ac.jp)

## 研究生及び大学院研究生の取り扱いについて

### 1. 指導教員の決定

研究生または大学院研究生（以下、両方合わせて「（大学院）研究生」という。）として入学を出願する者は、あらかじめ希望する指導教員の内諾を得ておくものとする。

（大学院）研究生の指導教員は、教授会（研究科委員会）において承認し、決定する。

### 2. 授業の聴講

（大学院）研究生は、研究に必要があるときは、指導教員並びに講義担当教員の承認を得て、願い出によって学部・大学院の授業を聴講することができる。ただし、聴講科目は、原則として3科目以内とする。

授業聴講願（別紙4）は、春学期、通年講義については、4月末日まで、秋学期講義については、10月末日までに学部長（研究科長）あて提出するものとする。

### 3. 研究報告書の提出

（大学院）研究生は研究期間終了までに研究報告書を学部長（研究科長）に提出しなければならない。研究報告書を提出しない者には、研究内容証明を行わない。

### 4. 研究期間の延長

研究期間終了後、更に研究を継続しようとする者は、別途配布する「研究生延長出願要項」により手続きすること。

### 5. 身分証明書

研究生（大学院研究生）証を発行する。

### 6. 連絡

各種連絡はすべて掲示による。

### 7. 図書の閲覧

（大学院）研究生は、教育学部図書室利用案内に従って図書の閲覧及び帯出をすることができる。なお、詳細については図書係に尋ねること。

### 8. 研究費

研究に要する費用は、設備に付帯するもののほか、すべて自弁とする。

提出年月日：平成 年 月 日  
閲覧（了）年月日：平成 年 月 日

平成 年度

学 部  
大学院研究生研究報告書

研究領域 \_\_\_\_\_

研究テーマ \_\_\_\_\_

研究期間 平成 年 月～平成 年 月

研究生氏名 \_\_\_\_\_

- 
- 〔注意〕 1. 研究報告にはこの表紙を用いること。  
2. サイズはA4版に限ります。

指導教員

印

研 究 期 間 延 長 願

平成 年 月 日

名古屋大学 教育学部長 殿  
教育発達科学研究科長

現住所 〒

入学年月 平成 年 月

氏 名 ⑩

昭和・平成 年 月 日生  
(西暦 年)

TEL: \_\_\_\_\_

Email: \_\_\_\_\_

下記により、貴 学 部 の研究生を継続したいので、研究期間の延長をご許可くださ  
大学院 るようお願いいたします。

記

研究領域

研究テーマ

指 導 教 員 ⑩

現研究期間 平成 年 月 ～ 平成 年 月

継続研究期間 平成 年 月 ～ 平成 年 月

(添付書類) 研究生研究継続理由書及び研究生研究報告書  
120円切手を貼付した返信用封筒(角形2号)



別紙4

研 究 生 授 業 聴 講 願

平成 年 月 日

名古屋大学 教育学部長 殿  
教育発達科学研究科長

氏 名 印

研究テーマ「 」の研究に  
必要ですので、下記の授業の聴講をご許可くださるようお願いいたします。

記

授 業 科 目 名	曜 日 (時 限)	春・秋学期 通年の別	担 当 教 員 氏 名	印

指導教員氏名

印